

資料1

## 八尾市立病院の業務状況(令和4年度)

令和5年8月1日

## 1. 令和4年度の業務状況

### (1) 概況

令和4年度においては、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症に係る感染の脅威が継続する中、大阪府、市保健所及び地域の医療機関と連携しながら、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れるとともに、検査や診断、ワクチン接種など公立病院として最優先で新型コロナウイルス感染症対策に取り組んだ。またこれまでの経営計画での「公立病院としての役割」「医療の質の向上」「健全経営の確保」の視点で取り組みを継続し、医療従事者の確保に注力しながら、医療機能の向上と健全経営の維持に努め、令和4年度は約 10 億 1,100 万円の純利益を計上した。

### (2) 経営状況

令和4年度の年間延入院患者数は 97,407 人、病床利用率は 70.2%となり、患者数は前年度から 1,037 人増加し、病床利用率は前年度を 0.7 ポイント上回った。また、年間延外来患者数は 177,516 人となり、前年度から 1,452 人減少した。

医業収益では、入院については、患者数、患者1人1日当たりの診療収入がともに増加したことで入院収益は前年度より増加し、外来については、患者数は減少したものの、患者1人1日当たりの診療収入が増加したことで外来収益も前年度を上回り、医業収益は対前年度で約 10 億 2,900 万円増加した。

医業費用では、職員数の増加や看護職員等処遇改善事業などによる給与費の増、高度医療の推進による材料費の増、また光熱水費や委託料などの経費の増などにより、医業費用は対前年度で約 4 億 8,800 万円増加し、病院事業費用では対前年度で約 5 億 1,300 万円の増加となり、その結果当年度純利益は約 10 億 1,100 万円となった。

主な経営指標については、経常収支比率が 106.5%、医業収支比率が 91.3%となり、医業収益の増加が、医業費用の増加を上回ったことで、医業収支比率が前年度より 4.2 ポイント上昇した。また、経常収支比率は一般会計からの繰入金や新型コロナウイルス感染症に係る補助金が減少したものの、医業収益の増加によって前年度より上昇した。また、医業収益に対する職員給与費の割合は、54.4%と前年度から 2.9 ポイント良化したほか、医業収益に対する材料費の割合は、前年度から 1.6 ポイント良化し 25.6%となった。

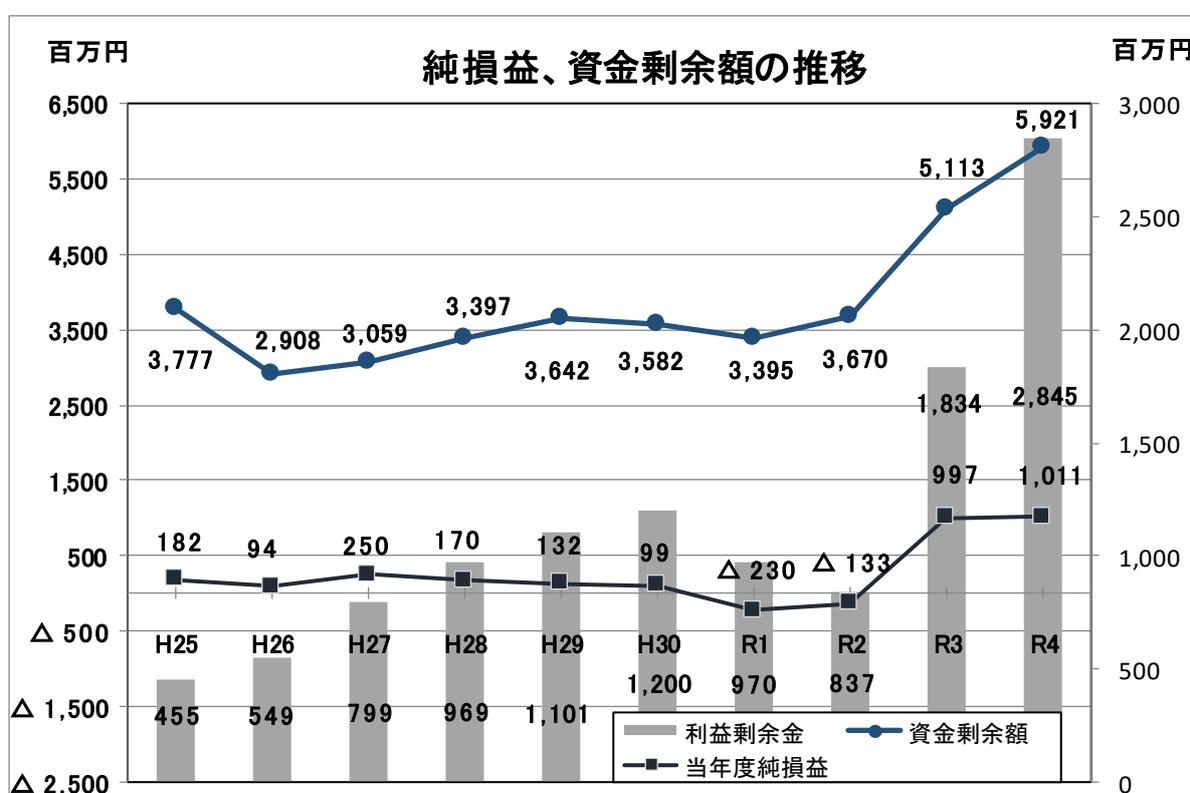
経営状況については以上であるが、令和4年度決算では、これまでから健全経営を計る指標として重視してきた資金剰余額(流動資産－流動負債)は、約 10 億円の単年度純利益により対前年度から約 8 億 800 万円増加し、約 59 億 2,100 万円となった。この資金剰余額の状況は、コロナ禍においても、病院運営上直ちに問題が生じる水準ではなく、現時点では健全経営を維持しているものと総括している。

当院としては今後も、公立病院として通常診療との両立を図りつつ、新型コロナウイルス感染症の動向を注視しながら新興感染症に継続して対応するとともに、アフターコロナに向けて、地域住民の安心を確保し生命と健康を守るため、市の中核病院として急性期医療を推進し、全病院スタッフが一丸となって安定した医療提供体制の維持に努めていきたい。また、経営計画の取り組みを進めつつ、収支にも留意し、一定水準の資金を確保しながら、持続可能な病院運営に努めていきたい。

### (3) 経営計画との比較

「八尾市立病院経営計画(Ver.IV)」との比較では、年間延入院患者数は計画を 27,423 人、病床利用率は計画を 19.8 ポイント下回り、年間延外来患者数では計画を 12,024 人下回った。また、患者1人1日当たりの診療収入は、入院では計画を 13,845 円上回り、外来は 1,851 円下回った。なお、当年度純損益は計画より約 13 億 700 万円、資金剰余額は計画より 43 億 4,100 万円上回った。

主な経営指標については、医業収支比率は医業収益の減少が医業費用の減少を上回ったため計画に 5.8 ポイント届かなかったものの、経常収支比率は経常収益の増加により 8.2 ポイント上回った。



※利益剰余金は減資により累積欠損金を解消した平成 24 年度以降を表示

## 2. 新型コロナウイルス感染症にかかる取り組みについて

### (1) 当院における新型コロナウイルス感染症対応について

当院としては、公立病院として、新型コロナウイルス感染症に関しては、毒性・感染力・社会的影響等を総合的に判断し、院内感染が発生しないように最大限の対策を講じながら対応していくことを院内の危機管理対策委員会で決定し、病院スタッフが一丸となって取り組んだ。

#### ●危機管理対策委員会

当院においては、令和2年1月30日の第1回危機管理対策委員会の開催後、同委員会をほぼ毎週のように実施(令和5年5月28日まで184回)しており、新型コロナウイルス感染症にかかる様々な対応策を日々検討してきた。

#### ●検査・診察体制の整備 (主な経過)

- ・ 令和2年2月6日 「帰国者・接触者外来」の設置
- ・ 令和2年3月16日 PFI事業の協力企業への検査委託の開始
- ・ 令和2年5月8日 「紹介救急外来」の設置
- ・ 令和2年10月9日 院内PCR検査の整備
- ・ 令和2年12月1日 「八尾市立病院特設診療・検査センター」の設置
- ・ 令和2年12月4日 院内での抗原(定量)検査を開始
- ・ 令和3年8月30日 新型コロナウイルス感染症外来診療病院として対応を開始
- ・ 令和3年9月1日 抗体カクテル外来診療病院として登録
- ・ 令和3年10月4日 外来での抗体療法を開始  
新型コロナウイルス外来抗体療法バックアップ病院として登録
- ・ 令和5年3月6日 HCU病棟の運用開始

#### ●感染患者の入院受け入れ <病床確保の主な経過>

- ・ 令和2年2月6日 「帰国者・接触者外来」の設置に合わせ、陰圧室1床確保
- ・ 令和2年3月9日 市内陽性患者の発生に伴い、病床確保数を5床に拡大
- ・ 令和2年3月26日 病床確保を10床に拡大
- ・ 令和2年4月13日 1病棟(50床)を活用、感染患者等23人対応に拡大  
※上記以降は、感染状況に合わせて、10~23人の範囲で確保病床を変更対応
- ・ 令和2年12月7日 2病棟(100床)を活用、感染患者等45人対応に拡大  
※上記以降は、感染状況に合わせて、23~45人の範囲で確保病床を変更対応
- ・ 令和3年4月26日 2病棟(100床)及びICU(6床)活用、感染患者等45人対応に拡大  
※重症患者受入病院の病床が不足し、ICU病床で対応せざるを得なくなる  
※上記以降は、感染状況に合わせて、23~45人の範囲で確保病床を変更対応
- ・ 令和3年9月13日 2病棟(100床)を活用、感染患者等50人対応に拡大  
※上記の病棟内で小児3床、妊産婦2床を新たに確保  
※上記以降は感染状況に合わせて、5~50人の範囲で確保病床を変更対応
- ・ 令和4年2月3日 2病棟(100床)を活用、感染患者等52人対応に拡大  
※変異株(オミクロン株)への対応のため要請により2床追加

※上記以降は感染状況に合わせて、5～52人の範囲で確保病床を変更対応

- ・令和5年3月6日 HCU(8床)を活用 ※感染収束時のためHCUのみで対応

※感染状況に合わせて、最大52人対応できる体制は確保

(注) 当院は感染症指定医療機関ではないため、感染リスクを避けるために、感染対策管理室の主導のもとレッドゾーンを明確にしたゾーニングを行い、感染対策を万全にした上で、可能な限りの病床を確保した。

●新型コロナワクチン接種(主な経過)

- ・令和3年3月10日 院内職員への優先接種を開始
- ・令和3年4月21日 地域の医療従事者向けの優先接種を開始
- ・令和3年6月26日 市の会場の一つとして2階外来スペースを活用して集団接種を開始  
※8月1日までの土・日曜日に1日900枠で実施  
※ワクチン供給量制限後：9月～11月までは毎週日曜日のみ実施
- ・令和3年7月5日 医療機関の一つとして2階健診センターを活用して個別接種を開始  
※平日(金曜日を除く)に1日約100枠で実施
- ・令和3年8月25日 妊婦及びその同居家族・パートナーの優先接種を開始
- ・令和3年9月19日 受験生(中学3年生、高校3年生)の優先接種を開始
- ・令和4年1月11日 一般向けとして個別接種で3回目接種を開始
- ・令和4年2月7日 ワクチンの選択可能(ファイザー：月・火曜日、モデルナ：水・木曜日)
- ・令和4年3月23日 小児(5歳～11歳)へのワクチン接種を実施

(2) 新型コロナウイルス感染症にかかる対応実績 ※令和4年度末現在

- ・感染患者入院受け入れ数(疑似症を含む)

令和元年度	延べ17人	令和2年度	延べ4,340人	令和3年度	延べ5,399人
令和4年度	延べ4,451人				

合計 延べ14,207人

- ・検査件数

令和元年度	延べ71件	令和2年度	延べ5,155件	令和3年度	延べ12,160件
令和4年度	延べ15,973件				

合計 延べ33,359件

- ・ワクチン接種数

令和2年度	延べ805人	令和3年度	延べ32,179人	令和4年度	延べ4,925件
-------	--------	-------	-----------	-------	----------

合計 延べ37,909人

- ・新型コロナ治療件数(抗体治療を含む)

令和3年度	延べ444人	令和4年度	延べ343件
-------	--------	-------	--------

合計 延べ787件

### 3. 八尾市立病院経営計画の達成状況

項目 \ 年度	令和3年度 決算 (a)	令和4年度 経営計画 (b)	令和4年度 決算見込 (c)	R4見込 -R3決算 (c)-(a)	R4見込 -R4計画 (c)-(b)	計画に対す る達成率(%) ※4
年間延入院患者数(人)	96,370	124,830	97,407	1,037	△ 27,423	78.0
(病床利用率)(%)	(69.5)	(90.0)	(70.2)	(0.7)	(△ 19.8)	(78.0)
年間延外来患者数(人)	178,968	189,540	177,516	△ 1,452	△ 12,024	93.7
入院患者1人1日当たり診療収入※1 (入院収益÷年間延入院患者数)(円)	78,828	74,599	88,444	9,616	13,845	118.6
外来患者1人1日当たり診療収入※1 (外来収益÷年間延外来患者数)(円)	22,649	24,899	23,048	399	△ 1,851	92.6
当年度純損益※1 (病院事業収益-病院事業費用) (百万円)	997	△ 296	1,011	14	1,307	441.6
資金剰余額(百万円)	5,113	1,580	5,921	808	4,341	374.7
経常収支比率 (経常収益÷経常費用×100)(%)※2	106.1	98.3	106.5	0.4	8.2	108.3
経常収益に対する繰入金の割合(%)	6.8	5.4	5.9	△ 0.9	0.5	91.5
医業収支比率 (医業収益÷医業費用×100)(%)	87.1	97.1	91.3	4.2	△ 5.8	94.0
医業収益に対する職員給与費の割合 (%) ※3	57.3	47.7	54.4	△ 2.9	6.7	87.7
医業収益に対する材料費の割合(%)	27.2	26.5	25.6	△ 1.6	△ 0.9	103.5

※1 入院・外来患者1人1日当たり診療収入、及び当年度純損益は税抜き。

※2 地方公営企業における経常収支比率(経常費用に対する経常収益の割合)は、普通会計の経常収支比率と異なり、高いほどよく、100%を上回ると経常収支は黒字となる。

※3 令和2年度より会計年度任用職員制度創設のため、地方公営企業会計による職員給与費の計算基準が変更された。なお、令和4年度経営計画値は変更前の計算基準(臨時的任用職員に係る賃金等を除いたもの)から算出した比率である。

※4 計画に対する達成率(%)の計算式について、網掛けの項目は(b)÷(c)×100、その他の項目は(c)÷(b)×100。

#### 4. 令和4年度の収支状況

(税 抜) (百万円)

項目	年度	(税 抜) (百万円)					
		令和3年度 決算 (a)	令和4年度 経営計画 (b)	令和4年度 決算見込 (c)	R4見込 -R3決算 (c)-(a)	R4見込 -R4計画 (c)-(b)	計画に対する 達成率(%) ※1
収 益 的 収 支	病院事業収益	16,006	15,757	16,533	527	776	104.9
	経常収益	15,895	15,750	16,478	583	728	104.6
	医業収益	12,262	14,658	13,291	1,029	△ 1,367	90.7
	入院収益	7,597	9,312	8,615	1,018	△ 697	92.5
	外来収益	4,053	4,719	4,092	39	△ 627	86.7
	その他医業収益	612	627	584	△ 28	△ 43	93.1
	医業外収益	3,633	1,092	3,187	△ 446	2,095	291.8
	特別利益	111	7	55	△ 56	48	785.7
	病院事業費用	15,009	16,053	15,522	513	△ 531	103.4
	経常費用	14,988	16,030	15,470	482	△ 560	103.6
	医業費用	14,070	15,089	14,558	488	△ 531	103.6
	給与費	7,058	7,462	7,259	201	△ 203	102.8
	材料費	3,331	3,879	3,397	66	△ 482	114.2
	経費	2,653	2,701	2,872	219	171	94.0
	減価償却費	975	978	982	7	4	99.6
	その他	53	69	48	△ 5	△ 21	143.8
	医業外費用	918	941	912	△ 6	△ 29	103.2
	特別損失	21	23	52	31	29	44.2
	経常損益	907	△ 280	1,008	101	1,288	460.0
	純 損 益	997	△ 296	1,011	14	1,307	441.6

(税 抜) (百万円)

項目	年度	(税 抜) (百万円)					
		令和3年度 決算 (a)	令和4年度 経営計画 (b)	令和4年度 決算見込 (c)	R4見込 -R3決算 (c)-(a)	R4見込 -R4計画 (c)-(b)	計画に対する 達成率(%) ※1
資 本 的 収 支	資本的収入	1,771	1,661	1,036	△ 735	△ 625	62.4
	企業債	769	800	188	△ 581	△ 612	23.5
	出資金	100	100	100	0	0	100.0
	負担金	709	761	721	12	△ 40	94.7
	補助金	191	0	27	△ 164	27	皆 増
	固定資産売却代金	2	0	0	△ 2	0	-
	資本的支出	2,229	2,323	2,101	△ 128	△ 222	110.6
	建設改良費	918	909	768	△ 150	△ 141	118.4
	企業債償還金	1,311	1,414	1,333	22	△ 81	106.1
	差引合計	△ 458	△ 662	△ 1,065	△ 607	△ 403	62.2

(税 抜) (百万円)

項目	年度	(税 抜) (百万円)					
		令和3年度 決算 (a)	令和4年度 経営計画 (b)	令和4年度 決算見込 (c)	R4見込 -R3決算 (c)-(a)	R4見込 -R4計画 (c)-(b)	計画に対する 達成率(%) ※1
利益剰余金 ※2		1,834	△ 1,235	2,845	1,011	4,080	330.4
資金剰余額 ※3		5,113	1,580	5,921	808	4,341	374.7
企業債残高(3月末現在)		11,832	11,689	10,687	△ 1,145	△ 1,002	109.4

※1 計画に対する達成率(%)の計算式について、網掛けの項目は (b)÷(c)×100、その他の項目は (c)÷(b)×100。

※2 令和4年度の利益剰余金=令和3年度利益剰余金(1,834)+当年度純利益(1,011)

※3 令和4年度の資金剰余額=流動資産(10,395)-流動負債(4,474)

## 5. 主な収益・費用の増減

(税抜) (千円)

項 目	令和4年度見込	令和3年度	増減額	増減率(%)
病院事業収益	16,532,662	16,005,960	526,702	3.3
医療収益	13,290,513	12,261,506	1,029,007	8.4
入院収益	8,615,078	7,596,666	1,018,412	13.4
外来収益	4,091,441	4,053,443	37,998	0.9
その他医療収益	583,994	611,397	△ 27,403	△ 4.5
一般会計負担金	324,116	277,860	46,256	16.6
その他	259,878	333,537	△ 73,659	△ 22.1
医療外収益	3,187,437	3,633,449	△ 446,012	△ 12.3
受取利息及び配当金	4,132	3,123	1,009	32.3
他会計補助金	142,627	118,111	24,516	20.8
他会計負担金	509,444	678,748	△ 169,304	△ 24.9
補助金	2,026,749	2,218,143	△ 191,394	△ 8.6
長期前受金戻入	423,319	435,442	△ 12,123	△ 2.8
その他医療外収益	81,166	179,882	△ 98,716	△ 54.9
特別利益	54,712	111,005	△ 56,293	△ 50.7

(税抜) (千円)

項 目	令和4年度見込	令和3年度	増減額	増減率(%)
病院事業費用	15,521,607	15,009,039	512,568	3.4
医療費用	14,558,155	14,069,996	488,159	3.5
給与費用	7,259,093	7,058,067	201,026	2.8
給料	2,951,959	2,859,582	92,377	3.2
手当	2,469,771	2,354,651	115,120	4.9
報酬	292	234	58	24.8
法定福利費	904,285	921,850	△ 17,565	△ 1.9
退職給付費	484,663	491,492	△ 6,829	△ 1.4
賞与等引当金繰入額	448,123	430,258	17,865	4.2
材料費用	3,397,213	3,330,555	66,658	2.0
薬品費用	2,203,981	2,139,139	64,842	3.0
投薬薬品	144,123	175,425	△ 31,302	△ 17.8
注射薬品	1,867,163	1,767,709	99,454	5.6
その他薬品	192,695	196,005	△ 3,310	△ 1.7
診療材料費	1,193,232	1,191,416	1,816	0.2
経費	2,872,011	2,653,243	218,768	8.2
光熱水費	320,795	242,397	78,398	32.3
委託料	2,352,386	2,212,515	139,871	6.3
その他経費	198,830	198,331	499	0.3
減価償却費	982,107	974,897	7,210	0.7
資産減耗費	13,730	26,843	△ 13,113	△ 48.9
研究研修費	34,001	26,391	7,610	28.8
医療外費用	912,240	918,053	△ 5,813	△ 0.6
支払利息	165,909	180,327	△ 14,418	△ 8.0
長期前払消費税償却	49,187	52,666	△ 3,479	△ 6.6
雑支出	697,144	685,060	12,084	1.8
特別損失	51,212	20,990	30,222	144.0

## 6. 主要な経営指標の推移

項目 \ 年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度見込
年間延入院患者数(人) (病床利用率)(%)	127,264 (91.8)	124,247 (89.3)	104,183 (75.1)	96,370 (69.5)	97,407 (70.2)
年間延外来患者数(人)	207,980	212,180	174,383	178,968	177,516
入院患者1人1日当たり診療収入 (入院収益÷年間延入院患者数) (円) ※1	67,450	68,740	73,688	78,828	88,444
外来患者1人1日当たり診療収入 (外来収益÷年間延外来患者数) (円) ※1	18,953	20,186	22,619	22,649	23,048
当年度純損益※1 (病院事業収益－病院事業費用) (百万円)	99	△ 230	△ 133	997	1,011
資金剰余額(百万円)	3,582	3,395	3,670	5,113	5,921
経常収支比率 (経常収益÷経常費用×100)(%) ※2	100.6	98.3	98.9	106.1	106.5
経常収益に対する繰入金の割合 (%)	5.7	5.9	6.7	6.8	5.9
医業収支比率 (医業収益÷医業費用×100)(%)	97.2	95.4	86.7	87.1	91.3
医業収益に対する職員給与費の割合 (%) ※3	47.1	46.2	57.3	57.3	54.4
医業収益に対する材料費の割合 (%)	26.6	26.3	27.3	27.2	25.6

※1 入院・外来患者1人1日当たり診療収入、及び当年度純損益は税抜き。

※2 地方公営企業における経常収支比率(経常費用に対する経常収益の割合)は、普通会計の経常収支比率と異なり、高いほどよく、100%を上回ると経常収支は黒字となる。

※3 令和2年度より、会計年度任用職員制度創設のため、地方公営企業会計による職員給与費の計算基準が変更された。

## 7. 収支の推移

(税抜) (百万円)

項目		年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度見込
収 益 的 収 支	病院事業収益		14,449	14,808	14,878	16,006	16,533
	經常収益		14,405	14,765	14,833	15,895	16,478
	医業収益		13,155	13,476	12,198	12,262	13,291
	入院収益		8,584	8,541	7,677	7,597	8,615
	外来収益		3,942	4,283	3,944	4,053	4,092
	その他医業収益		629	652	577	612	584
	一般会計繰入金		257	275	270	278	324
	その他		372	377	307	334	260
	医業外収益		1,250	1,289	2,635	3,633	3,187
	一般会計繰入金		568	592	718	797	652
	その他		682	697	1,917	2,836	2,535
	特別利益		44	43	45	111	55
	病院事業費用		14,350	15,038	15,011	15,009	15,522
	經常費用		14,322	15,018	14,993	14,988	15,470
	医業費用		13,532	14,127	14,076	14,070	14,558
	給与費		6,535	6,642	7,021	7,058	7,259
	材料費		3,497	3,547	3,333	3,331	3,397
	経費		2,260	2,652	2,666	2,653	2,872
	うち委託料		1,895	2,201	2,251	2,213	2,352
	減価償却費		1,153	1,223	949	975	982
その他		87	63	107	53	48	
医業外費用		790	891	917	918	912	
支払利息		226	211	196	180	166	
その他		564	680	721	738	746	
特別損失		28	20	18	21	52	
經常損益		83	△ 253	△ 160	907	1,008	
純損益		99	△ 230	△ 133	997	1,011	
資 本 的 収 支	資本的収入		1,026	1,536	1,430	1,771	1,036
	企業債		430	846	549	769	188
	出資金		0	0	100	100	100
	負担金		591	674	736	709	721
	補助金		5	16	45	191	27
	固定資産売却代金		0	0	0	2	0
	資本的支出		1,833	2,220	2,142	2,229	2,101
建設改良費		754	976	776	918	768	
企業債償還金		1,079	1,244	1,366	1,311	1,333	
利益剰余金 ※1		1,200	970	837	1,834	2,845	
資金剰余額 ※2		3,582	3,395	3,670	5,113	5,921	
企業債残高(3月末現在)		13,589	13,192	12,374	11,832	10,687	

※1 利益剰余金＝前年度利益剰余金＋当年度純損益

※2 資金剰余額＝年度末の流動資産－年度末の流動負債

## 8. 経営指標の増減、府下病院との比較

区 分		算 式	令和 4年度	令和 3年度	3年度 府下5市 平均
一般病床利用率(%)		年延入院患者数／年延病床数×100	70.2	69.5	71.3
1日平均患者数 (人)	入 院	年延入院患者数／年間日数	267	264	284
	外 来	年延外来患者数／診療日数	731	740	858
	計	入 院 + 外 来	997	1,004	1,142
外来入院患者比率 (%)		年延外来患者数／年延入院患者数×100	182.2	185.7	202.6
患者1人1日当たり 診療収入(円)	入 院	入院(外来)収益／年延入院(外来)患者数	88,444	78,828	69,233
	外 来		23,048	22,649	18,234
	計		46,218	42,312	35,158
患者1人1日当たり医療材料費(円)		医療材料費／年延入院外来患者数	12,357	12,096	9,808
薬 品 費(投薬・注射薬)(円)		薬品費(試薬等除く)／年延入院外来患者数	8,017	7,057	5,512
その他医療材料費 (円)		その他医療材料費／年延入院外来患者数	4,340	5,039	4,300
医業収益に対する 割合(%)	職員給与費	職員給与費／医業収益×100	54.4	57.3	58.8
	医療材料費	医療材料費／医業収益×100	25.6	27.2	26.5
	経 費	経 費／医業収益×100	21.8	21.9	18.8
	委 託 料	委 託 料／医業収益×100	17.7	18.0	11.7
	減価償却費	減価償却費／医業収益×100	7.4	8.0	7.3
	企業債利息	企業債利息／医業収益×100	1.2	1.5	1.0

※地方公営企業決算報告の数値による。

※府下5市平均は、本市以外の病床300床以上の市立病院(豊中市、岸和田市、池田市、枚方市、箕面市)の数値の単純平均値。

## 9. 令和4年度の主な診療データ

### (1) 入院

#### (1)-1 年間延患者数

診療科	①令和4年度	②令和3年度	増減(①-②)	対前年度 (①/②*100)
内科	9,788人	10,678人	△ 890人	91.7%
消化器内科	12,147人	11,202人	945人	108.4%
循環器内科	11,042人	9,361人	1,681人	118.0%
血液内科	5,839人	7,442人	△ 1,603人	78.5%
外科	13,663人	13,695人	△ 32人	99.8%
消化器外科				
呼吸器外科	5,377人	5,933人	△ 556人	90.6%
乳腺外科	2,828人	2,709人	119人	104.4%
整形外科	8,112人	7,752人	360人	104.6%
脳神経外科	1,632人	1,263人	369人	129.2%
産婦人科	8,033人	8,738人	△ 705人	91.9%
小児科	5,614人	5,158人	456人	108.8%
耳鼻咽喉科	3,951人	3,822人	129人	103.4%
形成外科	2,605人	1,974人	631人	132.0%
泌尿器科	5,722人	5,544人	178人	103.2%
放射線科	90人	99人	△ 9人	90.9%
麻酔科	4人	0人	4人	皆増
歯科口腔外科	960人	1,000人	△ 40人	96.0%
合計	97,407人	96,370人	1,037人	101.1%

#### (1)-2 診療科別 入院収益

診療科	令和4年度			令和3年度		
	入院収益	構成比率	患者1人1日 当たり収入	入院収益	構成比率	患者1人1日 当たり収入
内科	1,297,042千円	15.0%	132,513円	1,063,120千円	14.0%	99,562円
消化器内科	770,596千円	8.9%	63,439円	631,236千円	8.3%	56,350円
循環器内科	1,212,839千円	14.1%	109,839円	1,017,194千円	13.4%	108,663円
血液内科	399,148千円	4.6%	68,359円	351,755千円	4.6%	47,266円
外科	1,150,397千円	13.4%	84,198円	1,093,226千円	14.4%	79,827円
消化器外科						
呼吸器外科	465,371千円	5.4%	86,548円	492,609千円	6.5%	83,029円
乳腺外科	251,029千円	2.9%	88,766円	222,498千円	2.9%	82,133円
整形外科	614,104千円	7.1%	75,703円	547,827千円	7.2%	70,669円
脳神経外科	128,901千円	1.5%	78,983円	117,977千円	1.5%	93,410円
産婦人科	758,517千円	8.8%	94,425円	739,699千円	9.7%	84,653円
小児科	492,532千円	5.7%	87,733円	358,710千円	4.7%	69,544円
耳鼻咽喉科	297,887千円	3.5%	75,395円	277,267千円	3.7%	72,545円
形成外科	268,845千円	3.1%	103,203円	219,911千円	2.9%	111,404円
泌尿器科	435,443千円	5.0%	76,100円	398,834千円	5.3%	71,940円
放射線科	6,432千円	0.1%	71,467円	5,759千円	0.1%	58,172円
麻酔科	507千円	0.1%	126,750円	0千円	0.0%	0円
歯科口腔外科	65,488千円	0.8%	68,217円	59,044千円	0.8%	59,044円
合計	8,615,078千円	100.0%	88,444円	7,596,666千円	100.0%	78,828円

※患者1人1日当たり収入は入院収益を延患者数で除したものの。

(1)－3 診療行為別収入

行 為	令和4年度			令和3年度		
	入院収益	構成比率	患者1人1日 当たり収入	入院収益	構成比率	患者1人1日 当たり収入
投薬・注射収入	599,050千円	7.0%	6,150円	517,794千円	6.8%	5,373円
処置・手術収入	2,709,870千円	31.5%	27,820円	2,626,500千円	34.5%	27,254円
検査・放射線収入	515,788千円	6.0%	5,295円	483,519千円	6.4%	5,017円
入院料	4,498,769千円	52.1%	46,185円	3,530,008千円	46.4%	36,630円
その他	291,601千円	3.4%	2,994円	438,845千円	5.9%	4,554円
合計	8,615,078千円	100.0%	88,444円	7,596,666千円	100.0%	78,828円

(1)－4 病床利用率

	①令和4年度	②令和3年度	増減(①-②)	対前年度
病床利用率	70.2%	69.5%	0.7%	101.0%

(1)－5 新入院患者数

	①令和4年度	②令和3年度	増減(①-②)	対前年度
新入院患者数	9,954人	9,889人	65人	100.7%

(1)－6 退院患者数

	①令和4年度	②令和3年度	増減(①-②)	対前年度
退院患者数	9,993人	9,923人	70人	100.7%

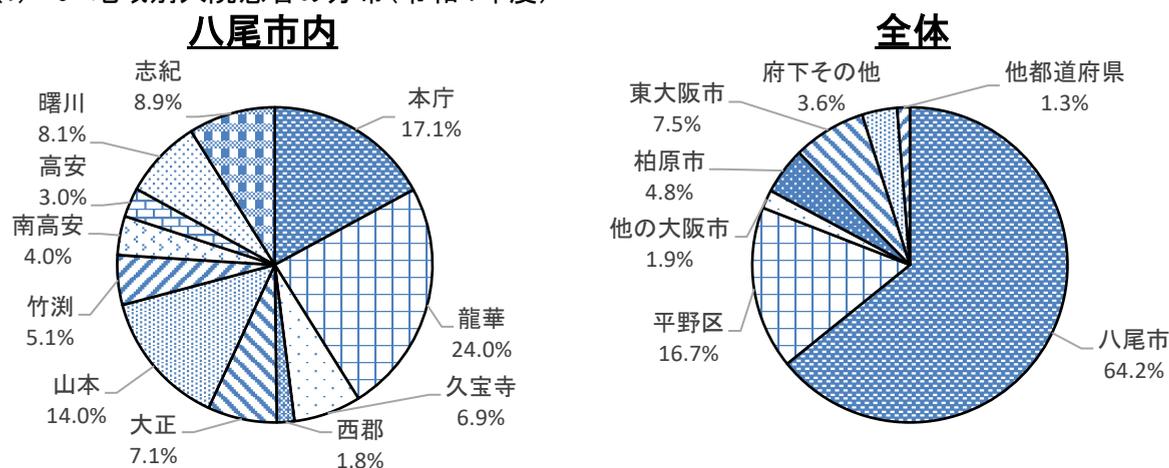
(1)－7 平均在院日数

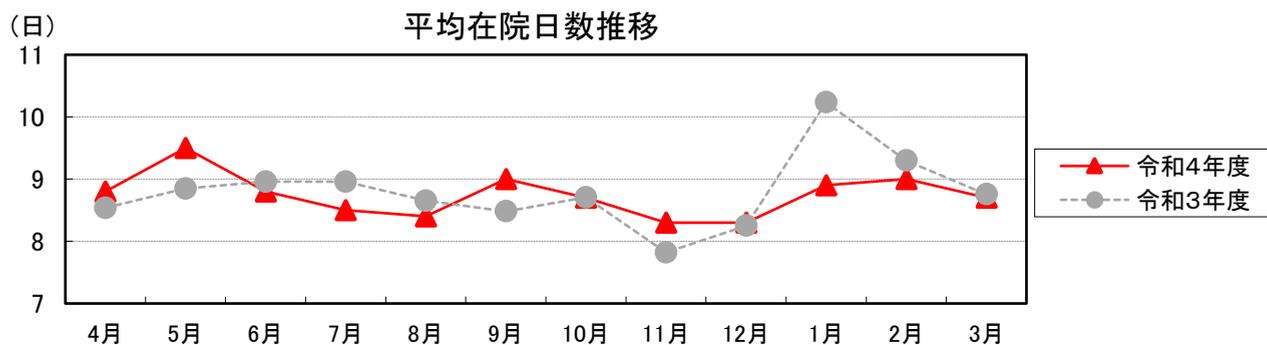
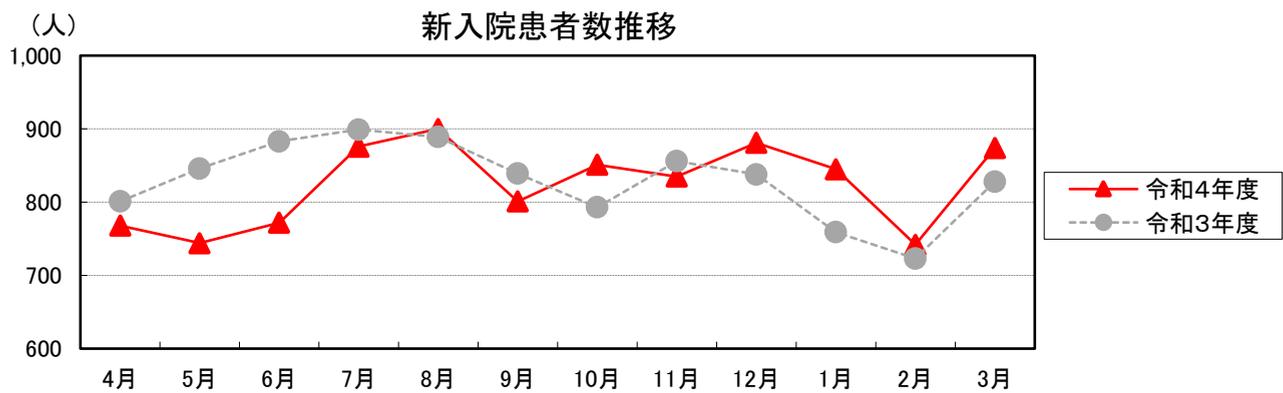
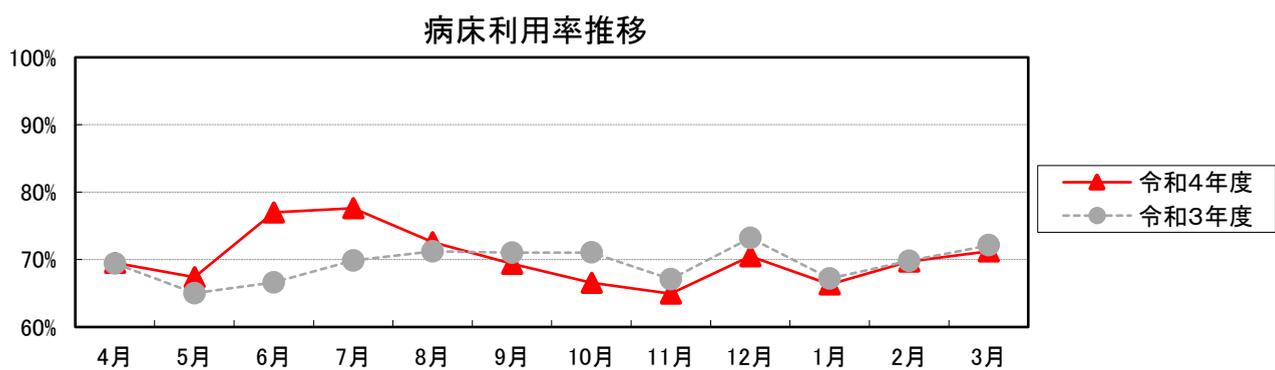
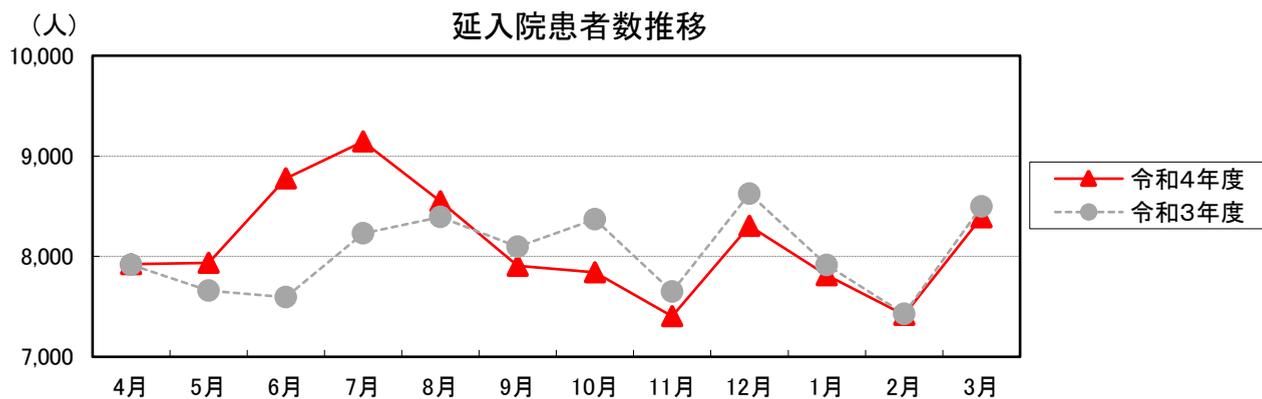
	①令和4年度	②令和3年度	増減(①-②)	対前年度
平均在院日数	8.8日	8.7日	0.1日	101.1%

(1)－8 患者1人1日当たり診療収入

	①令和4年度	②令和3年度	増減(①-②)	対前年度
1人1日当たり診療収入	88,444円	78,828円	9,616円	112.2%

(1)－9 地域別入院患者の分布(令和4年度)





## (2) 外来

## (2)-1 年間延患者数

診療科	①令和4年度	②令和3年度	増減(①-②)	対前年度 (①/②*100)
内科	11,818人	13,554人	△ 1,736人	87.2%
消化器内科	14,250人	13,761人	489人	103.6%
循環器内科	10,743人	10,961人	△ 218人	98.0%
血液内科	4,438人	4,255人	183人	104.3%
精神科	210人	140人	70人	150.0%
外科	11,711人	11,796人	△ 85人	99.3%
消化器外科				
呼吸器外科	3,412人	3,442人	△ 30人	99.1%
乳腺外科	7,291人	7,246人	45人	100.6%
整形外科	9,118人	9,273人	△ 155人	98.3%
脳神経外科	3,339人	3,559人	△ 220人	93.8%
産婦人科	16,739人	17,920人	△ 1,181人	93.4%
小児科	18,778人	17,072人	1,706人	110.0%
眼科	704人	713人	△ 9人	98.7%
耳鼻咽喉科	10,015人	9,856人	159人	101.6%
形成外科	6,478人	7,430人	△ 952人	87.2%
皮膚科	885人	1,146人	△ 261人	77.2%
泌尿器科	13,787人	14,176人	△ 389人	97.3%
放射線科	9,498人	9,004人	494人	105.5%
リハビリテーション科	719人	555人	164人	129.5%
麻酔科	1,486人	1,207人	279人	123.1%
歯科口腔外科	7,440人	7,661人	△ 221人	97.1%
救急診療科	14,657人	14,241人	416人	102.9%
合計	177,516人	178,968人	△ 1,452人	99.2%

※救急診療科については、救急外来で対応した患者を表記している。

## (2)-2 診療科別 外来収益

診療科	令和4年度			令和3年度		
	外来収益	構成比率	患者1人1日 当たり収入	外来収益	構成比率	患者1人1日 当たり収入
内科	193,763千円	4.8%	16,396円	269,809千円	6.7%	19,906円
消化器内科	247,623千円	6.1%	17,377円	212,242千円	5.2%	15,423円
循環器内科	181,550千円	4.4%	16,899円	170,125千円	4.2%	15,521円
血液内科	308,180千円	7.5%	69,441円	301,899千円	7.4%	70,952円
精神科	869千円	0.1%	4,138円	568千円	0.1%	4,057円
外科	569,968千円	13.9%	48,669円	569,038千円	14.0%	48,240円
消化器外科						
呼吸器外科	304,443千円	7.4%	89,227円	252,508千円	6.2%	73,361円
乳腺外科	492,760千円	12.0%	67,585円	501,118千円	12.3%	69,158円
整形外科	76,276千円	1.9%	8,365円	80,026千円	2.0%	8,630円
脳神経外科	67,367千円	1.6%	20,176円	66,929千円	1.7%	18,806円
産婦人科	137,583千円	3.4%	8,219円	139,993千円	3.4%	7,812円
小児科	477,208千円	11.7%	25,413円	451,743千円	11.1%	26,461円
眼科	3,482千円	0.1%	4,946円	2,896千円	0.1%	4,062円
耳鼻咽喉科	83,177千円	2.0%	8,305円	85,223千円	2.1%	8,647円
形成外科	56,450千円	1.4%	8,714円	59,267千円	1.5%	7,977円
皮膚科	1,971千円	0.0%	2,227円	2,924千円	0.1%	2,551円
泌尿器科	324,959千円	7.9%	23,570円	332,601千円	8.2%	23,462円
放射線科	253,402千円	6.2%	26,680円	234,092千円	5.8%	25,999円
リハビリテーション科	3,496千円	0.1%	4,862円	3,197千円	0.1%	5,760円
麻酔科	3,955千円	0.1%	2,662円	3,081千円	0.1%	2,553円
歯科口腔外科	70,063千円	1.7%	9,417円	69,710千円	1.7%	9,099円
救急診療科	232,896千円	5.7%	15,890円	244,454千円	6.0%	17,166円
合計	4,091,441千円	100.0%	23,048円	4,053,443千円	100.0%	22,649円

※患者1人1日当たり収入は外来収益を延患者数で除したものの。

(2)－3 診療行為別収入

行 為	令和4年度			令和3年度		
	外来収益	構成比率	患者1人1日 当たり収入	外来収益	構成比率	患者1人1日 当たり収入
初診・再診料	206,873千円	5.1%	1,165円	218,169千円	5.4%	1,219円
投薬・注射収入	1,750,979千円	42.7%	9,864円	1,771,097千円	43.7%	9,896円
処置・手術収入	122,992千円	3.0%	693円	110,325千円	2.7%	616円
検査・放射線収入	1,368,721千円	33.5%	7,710円	1,402,245千円	34.6%	7,835円
その他	641,876千円	15.7%	3,616円	551,607千円	13.6%	3,082円
合計	4,091,441千円	100.0%	23,048円	4,053,443千円	100.0%	22,648円

(2)－4 初診患者数

	①令和4年度	②令和3年度	増減(①-②)	対前年度 (①/②*100)
初診患者数	26,481人	26,288人	193人	100.7%

(2)－5 再診患者数

	①令和4年度	②令和3年度	増減(①-②)	対前年度 (①/②*100)
再診患者数	151,035人	152,680人	△ 1,645人	98.9%

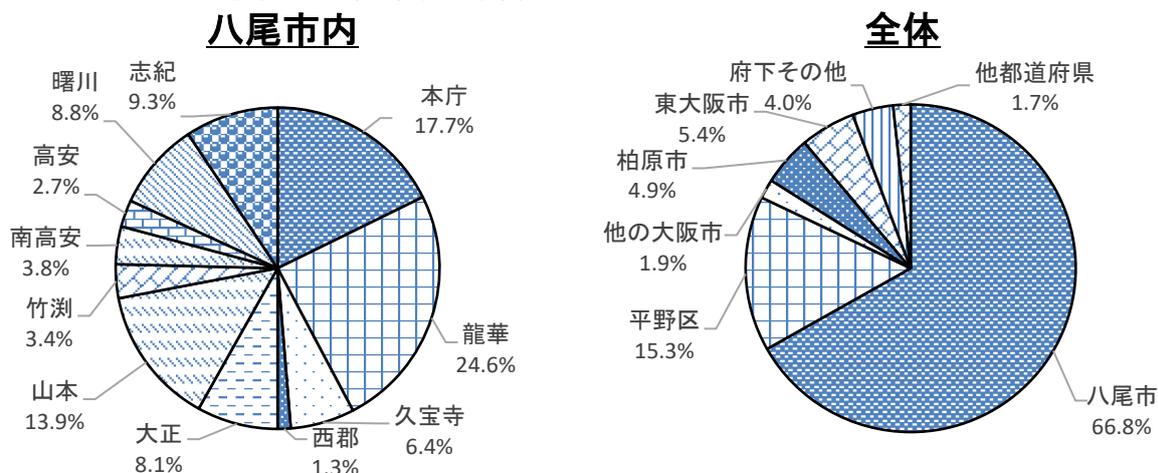
(2)－6 平均通院回数

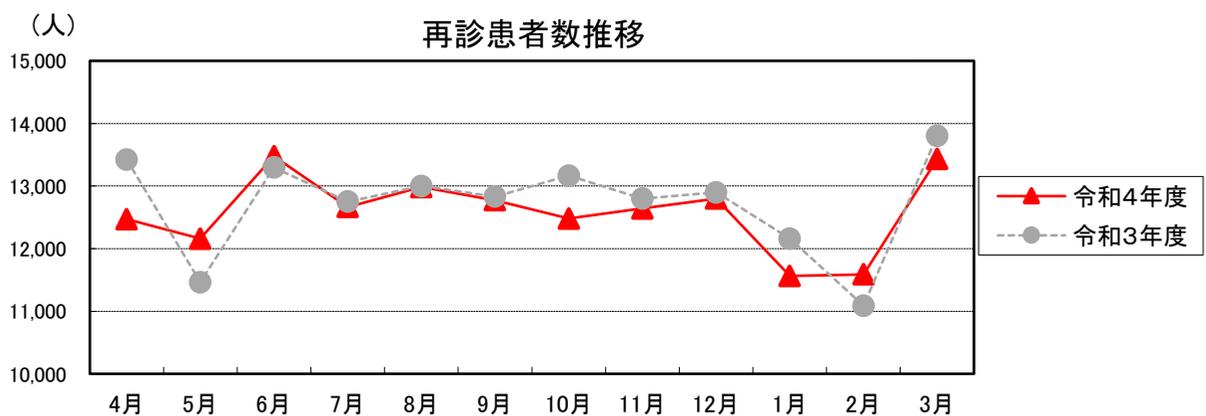
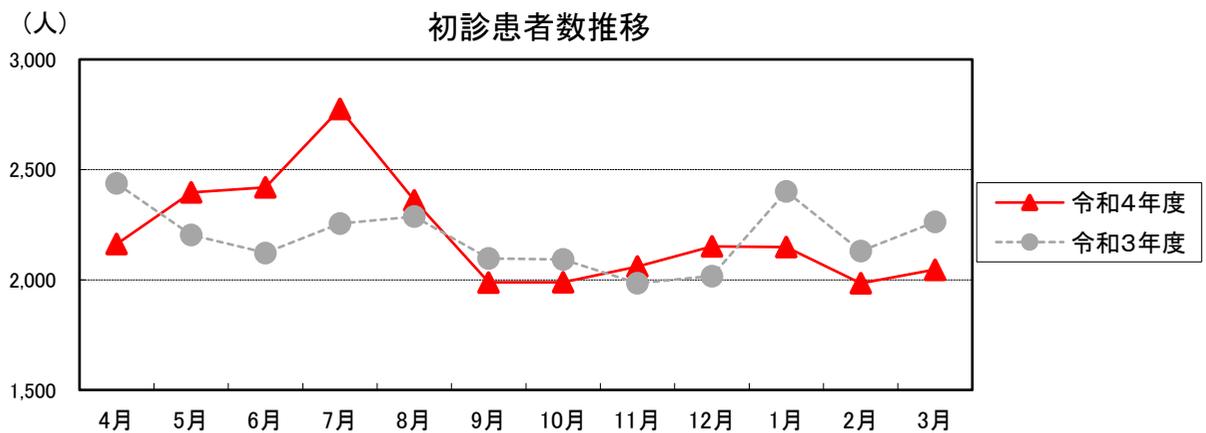
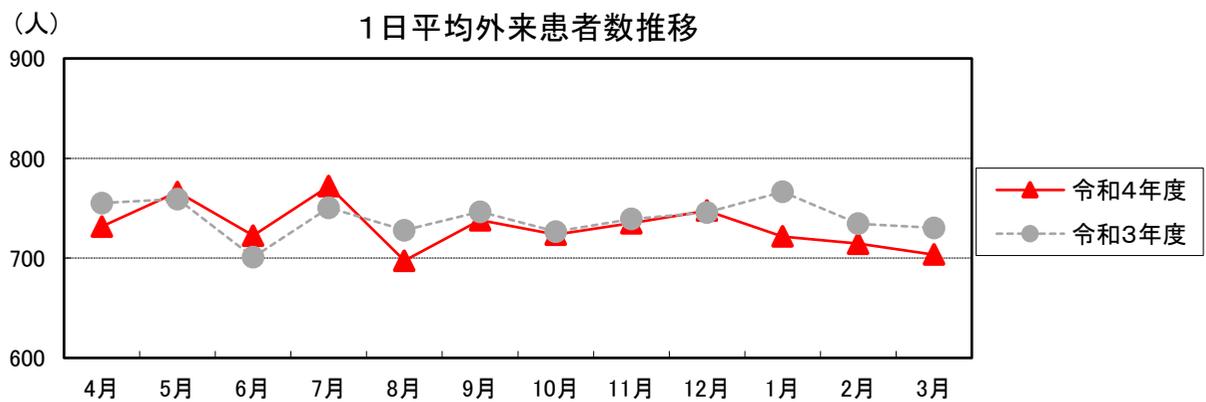
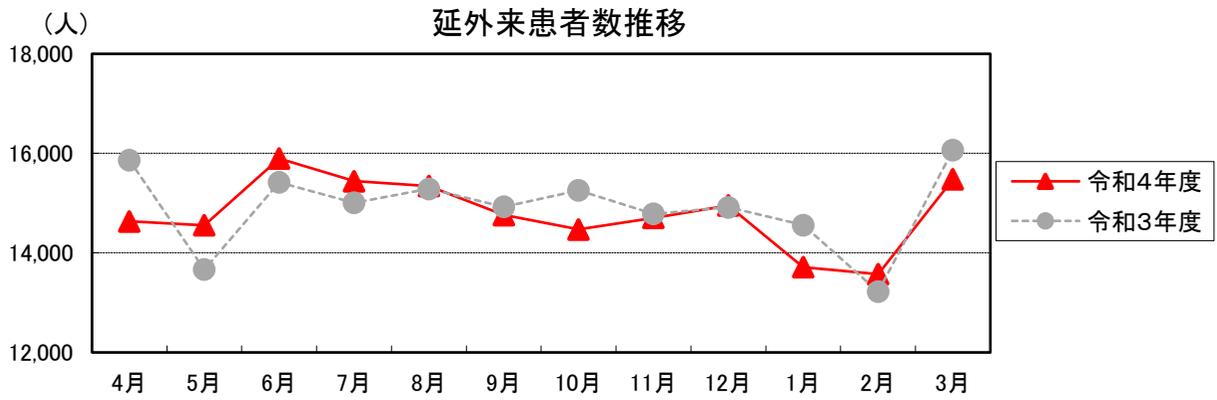
	①令和4年度	②令和3年度	増減(①-②)	対前年度 (①/②*100)
平均通院回数	6.7回	6.8回	△ 0.1回	98.5%

(2)－7 患者1人1日当たり診療収入

	①令和4年度	②令和3年度	増減(①-②)	対前年度 (①/②*100)
1人1日当たり診療収入	23,048円	22,649円	399円	101.8%

(2)－8 地域別外来患者の分布(令和4年度)





(3) 紹介率・逆紹介率

(3)－1 紹介率、逆紹介率

	①令和4年度	②令和3年度	増減(①-②)	対前年度 (①/②*100)
初診紹介患者数	9,983人	9,904人	79人	100.8%
紹介率	56.4%	51.7%	4.7%	109.1%
逆紹介率	90.4%	86.4%	4.0%	104.6%

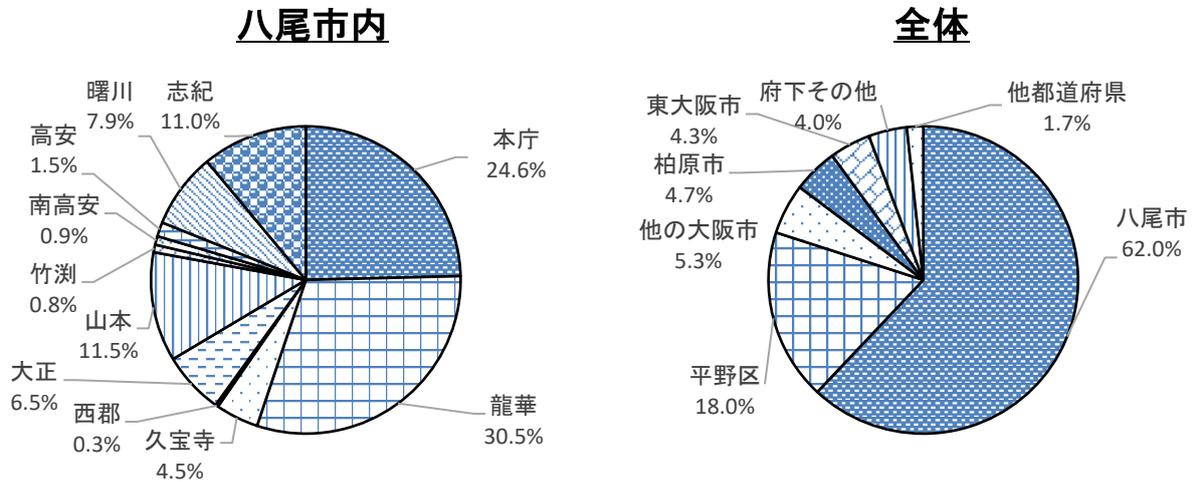
【紹介率算出式】

$$\frac{\text{紹介患者数(文書により紹介された患者の数)}}{\text{初診患者数(休日・夜間初診患者数と救急自動車搬送初診患者数を除く)}}$$

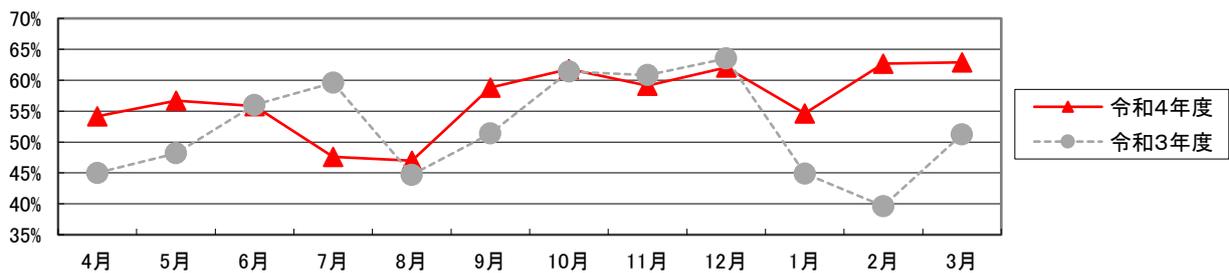
【逆紹介率算出式】

$$\frac{\text{逆紹介患者数(診療情報提供料を算定した患者数)}}{\text{初診患者数(休日・夜間初診患者数と救急自動車搬送初診患者数を除く)}}$$

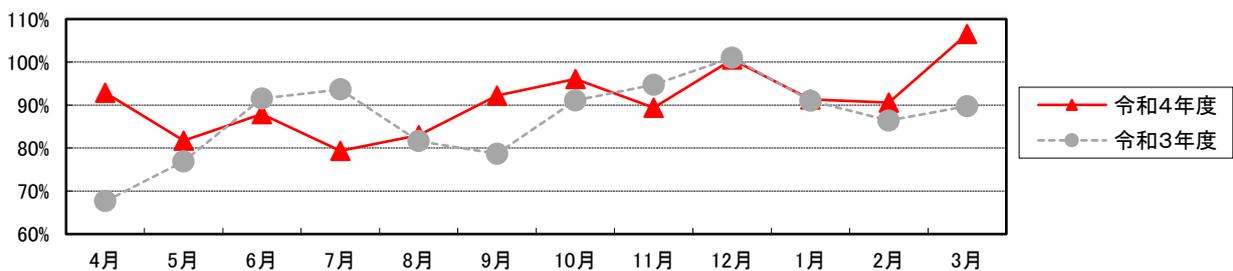
(3)－2 紹介元医療機関の分布(令和4年度)



紹介率推移



逆紹介率推移



## 10. 具体的取り組みに係る数値目標の達成状況

項目	年度	令和3年度 決算 (a)	令和4年度 経営計画 (b)	令和4年度 決算見込 (c)	R4見込 -R3決算 (c)-(a)	R4見込 -R4計画 (c)-(b)	計画に対す る達成率(%) (c)÷(b)× 100
初診紹介患者数(人)		9,904	12,000	9,983	79	△ 2,017	83.2
逆紹介(診療情報提供)件数(件)		16,548	15,400	15,987	△ 561	587	103.8
紹介率(%)		51.7	50.0	56.4	4.7	6.4	112.8
逆紹介率(%)		86.4	70.0	90.4	4.0	20.4	129.1
病診薬ネットワークシステム情報共有 件数(件)		4,293	3,900	4,870	577	970	124.9
救急搬送受入数(人)		3,258	4,200	3,952	694	△ 248	94.1
救急からの入院数(人)		2,912	2,700	3,605	693	905	133.5
分娩取扱い件数(件)		658	800	586	△ 72	△ 214	73.3
がん患者数(人)		2,314	2,600	2,665	351	65	102.5
がん手術件数(件)		1,088	1,300	1,073	△ 15	△ 227	82.5
放射線治療件数(件)		6,749	7,000	7,091	342	91	101.3
外来化学療法件数(件)		5,173	5,450	5,081	△ 92	△ 369	93.2
がん相談件数(人)		3,631	3,600	3,814	183	214	105.9
手術件数(件)		4,202	5,000	4,366	164	△ 634	87.3
全身麻酔手術件数(件)		2,772	3,500	2,924	152	△ 576	83.5
鏡視下手術件数(件)		1,002	1,000	958	△ 44	△ 42	95.8
クリニカルパス適用率(%)		80.8	82.0	90.0	9.2	8.0	109.8
新入院患者数(人)		9,889	11,400	9,954	65	△ 1,446	87.3
入退院支援数(人)		3,956	3,300	3,979	23	679	120.6
平均在院日数(日)		8.7	9.5	8.8	0.1	△ 0.7	108.0
後発医薬品指数(%)		94.9	90.0	94.4	△ 0.5	4.4	104.9